

## 第2章

# 中野市の環境の現状

### 1 中野市の概要

#### (1) 位置・地勢

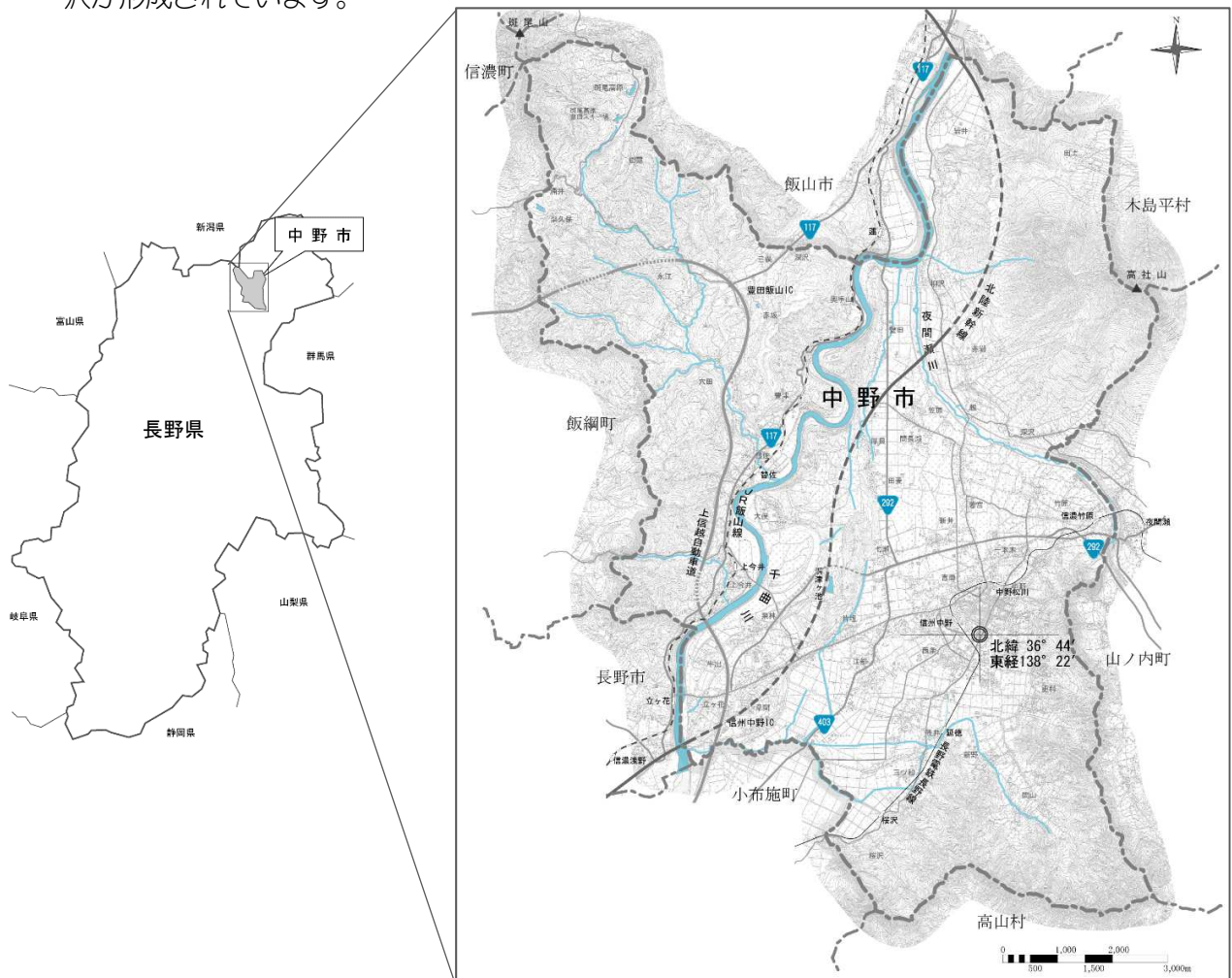
本市は長野県の北東部に位置し、東西約11km、南北約16kmで、面積は112.18km<sup>2</sup>です。

北は飯山市、木島平村、南は小布施町、高山村、東は山ノ内町、西は長野市、信濃町、飯綱町に接しています。市役所の位置は、東経138度22分、北緯36度44分、標高は367mです。

市のほぼ中央を千曲川が蛇行しながら北に流れています。北東には高井富士とも呼ばれる高社山（1351.5m）、北西には斑尾山（1381.8m）がそびえています。この2つの山裾や東部の山地を背景とする地域、千曲川の河岸段丘や夜間瀬川が形成した扇状地に集落が形成され、中野扇状地には市街地が広がっています。

高社山は、「たかやしろ」と呼び親しまれ、古くから信仰の対象にもなっています。その裾野を夜間瀬川が「十三崖」を形成し、北へ流れ、千曲川に合流しています。

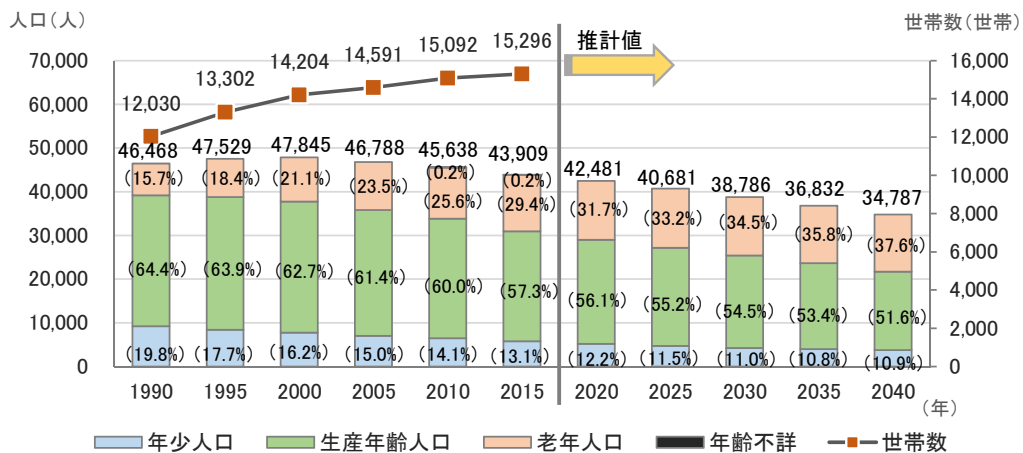
斑尾山は、手のひらを広げたような5つの尾根からなっており、この間に4つの谷と多くの沢が形成されています。



## (2) 人口

本市の平成27年国勢調査(2015年)による人口は43,909人、世帯数は15,296世帯で、1世帯当たりの平均人数は2.87人でした。2010年(平成22年)の国勢調査と比較すると、人口は1,729人(3.8%)の減少、世帯数は204世帯(1.4%)の増加でした。

国立社会保障・人口問題研究所が、2013年(平成25年)12月に発表した、「日本の地域別将来推計人口-平成22(2010)～52(2040)年(平成25年3月推計)」では、2040年の中野市の人口は34,787人となり、2010年(平成22年)より10,851人(23.8%)減少すると推計されています。

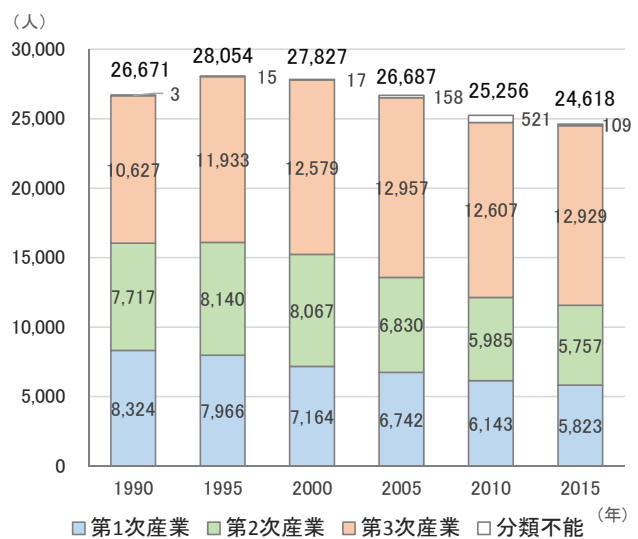


人口・世帯数の推移及び人口推計値

(資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所(2013年(平成25年)3月推計))

## (3) 産業

2015年(平成27年)の国勢調査における本市の産業3区別の就業者数は、第1次産業23.8%、第2次産業23.5%、第3次産業52.8%でした。2010年(平成22年)と比較すると、第1次産業、第2次産業が減少し、第3次産業が増加しています。

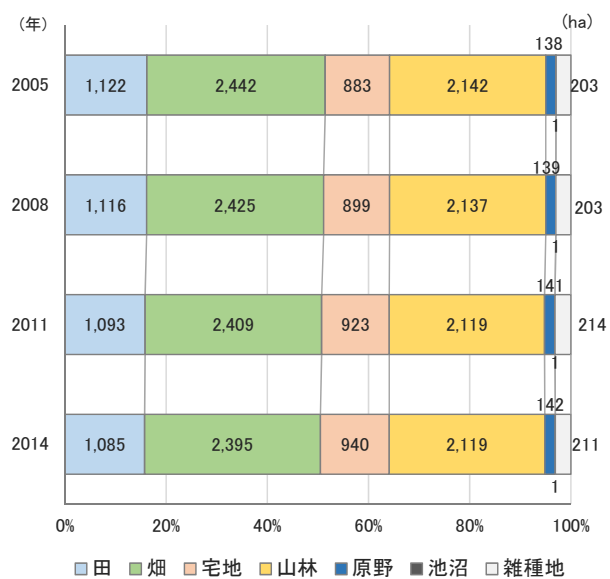


産業3区別就業者数

(資料：国勢調査)

## (4) 土地利用

地目別面積は、田が約16%、畑が約35%、山林が約30%、宅地が約14%となっています。田、畑は減少し、宅地が増加する傾向となっています。



地目別面積の推移

(資料：中野市の統計)



秋の高社山



さくらんぼ狩り体験

## 2 環境の現状・課題

### (1) 環境教育 協働推進

#### ■ 環境学習の実施

市内の各小中学校では、教科学習や児童・生徒会活動において、ごみ拾い、アルミ缶回収、花壇づくり、栽培活動などの環境学習が実践されています。

また、家庭を対象としたものとしては、水辺の生き物や川の汚れを観察し、自然環境保全の重要性を考えることを目的に自然観察会「千曲川ラフティング」を毎年開催しているほか、公民館における講座では、親子で様々な自然体験を行う機会として、親子体験教室「あるある探検隊」などを実施しています。



自然観察会「千曲川ラフティング」



親子体験教室「あるある探検隊」

## ■ 信州中野環境祭

市では、市民の皆さんに環境保全や環境問題などについて楽しみながら知っていただく機会として「信州中野環境祭」を開催しています。会場には、事業者や市民団体などによる環境に関する出展のほか、環境にやさしい製品の展示販売や各種体験コーナーなどが設けられます。



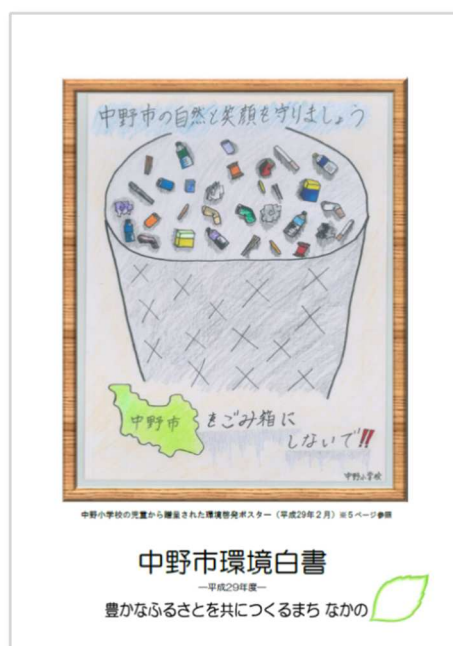
楽しいエコカーの運転体験



間伐材を使った木工工作

## ■ 情報発信

市では、環境問題などに関する市民の皆さんの関心を高めるため、広報紙や市公式ホームページなどにより環境に関する情報を提供したり、市の施設見学のコースに東山クリーンセンターや下水道汚泥堆肥化施設などを組み入れ実施しています。また、環境基本計画に基づいた取組や計画の進捗状況などをまとめた「中野市環境白書」を毎年作成し公表しています。



広報なかの、中野市環境白書は、市公式ホームページ(<http://www.city.nakano.nagano.jp/>)でご覧いただけます。

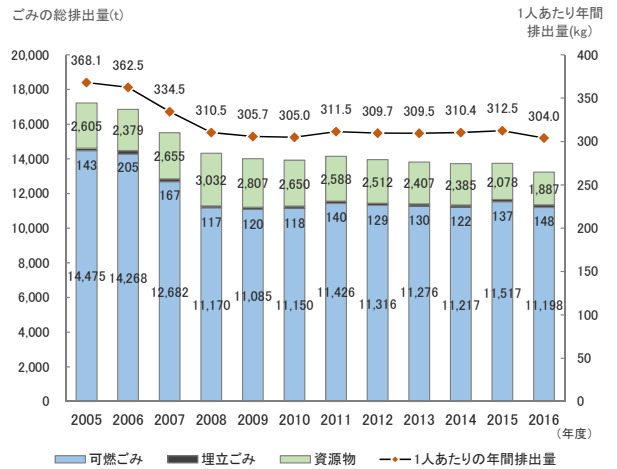
## (2) 循環型社会環境

### ■ ごみの減量化・資源化

#### ◆ごみの排出量

ごみの排出量は、2008年度(平成20年度)からほぼ横ばい傾向となっています。

2016年度(平成28年度)の「市民1人当たりのごみ排出量」は、304kgで、2006年度(平成18年度)との比較では、16.1%減少しています。



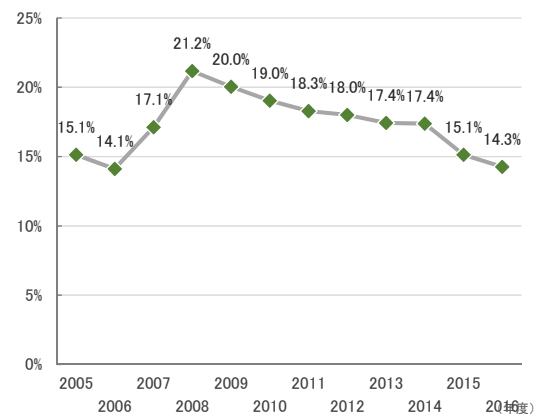
ごみの排出量の推移

(資料：環境課)

#### ◆ごみの資源化

2016年度(平成28年度)のリサイクル率は14.3%となっており、年々減少傾向にあります。近年、民間事業者による資源回収が進むことにより、行政が回収する資源物の量が減少していることが原因のひとつと考えられます。

また、本市のリサイクル率は県平均23.0%(2015年度(平成27年度))と比較して低くなっています。

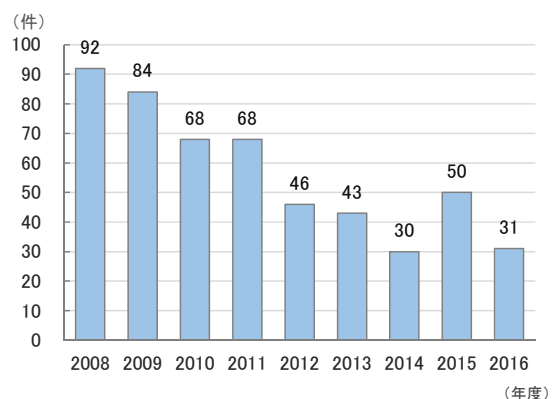


リサイクル率の推移

(資料：環境課)

#### ◆生ごみ処理機の普及促進

生ごみの堆肥化・減量化を促進するため、市では、生ごみ処理機器等を購入した方に対し、補助金を交付しています。2016年度(平成28年度)は31件交付しました。



生ごみ堆肥化機器等購入補助件数

(資料：環境課)

#### ◆下水道汚泥の堆肥化

市では、下水道汚泥を原料にして汚泥発酵肥料なかの「おすみちゃん」と「未土利(みどり)」を製造・販売しています。

■ ごみの適正処理

◆ ごみの分別

本市では、下表に示す方法でごみ・資源物の回収が行われています。

ごみ・資源物の回収・処分方法

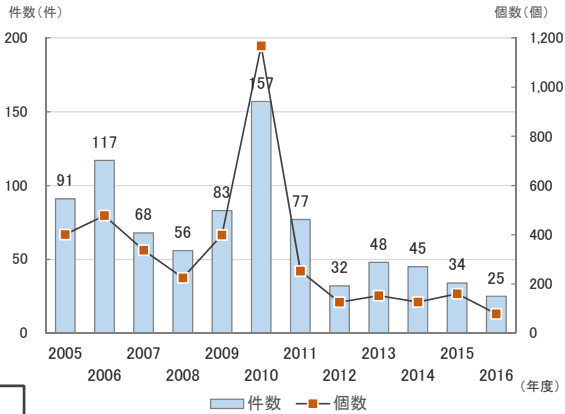
区分	回収回数	収集方法	搬入先	処分方法	最終処分方法	処分実施者	
可燃ごみ	週2回	別に定めるごみ収集計画により、ごみ集積場から収集	東山クリーンセンター	切断・焼却	埋立	北信保健衛生施設組合	
埋立ごみ	月1回		最終処分場	埋立	埋立		
空缶・金属	月2回		不燃物処理センター	選別・圧縮・破砕	資源化		公益法人日本容器リサイクル協会
プラスチック製容器包装	週1回		委託業者	選別・圧縮・梱包		指定法人	
白色トレイ	月1回						
紙パック	月1回						
びん	月2回						
ペットボトル	月2回						
段ボール・新聞紙・雑がみ・雑誌	月2回						上記の回収方法と市内スーパー等で行う資源物日曜回収
古着	月1回		市内スーパー等で行う資源物日曜回収	選別	海外へ売却	委託業者	
廃食用油	月1回		原料化				
剪定枝	月1回	浜津ヶ池公園駐車場で資源物特別回収	浜津ヶ池公園駐車場でチップ化し無料配布	破砕	資源化	市	
陶磁器	年3回		委託業者			委託業者	
硬質プラスチック	年4回						
有害ごみ	年2回	市民大清掃日に区毎に回収	東山クリーンセンター			北信保健衛生施設組合	
粗大ごみ	随時	許可業者へ委託、直接搬入	東山クリーンセンター、不燃物処理センター	選別・焼却	資源化、埋立		
事業系可燃ごみ	随時	許可業者へ委託	東山クリーンセンター、許可業者	選別・切断・焼却	埋立	許可業者	

(資料：中野市一般廃棄物処理基本計画)

◆不法投棄

山間部の道路沿いや空き地などを中心に、毎年、市内各所で、年間30件前後の不法投棄が発見されています。

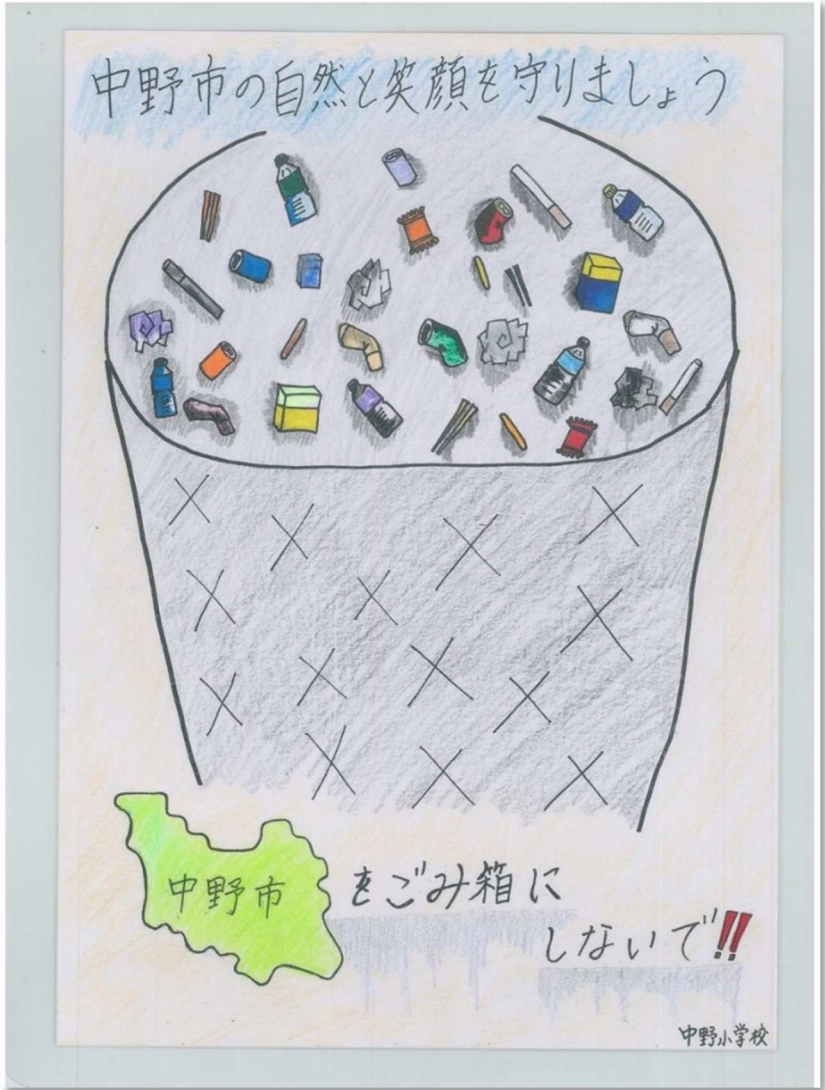
投棄物は、タイヤが最も多く、テレビや冷蔵庫など家電製品も多く投棄されています。



不法投棄の罰則（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）

- 個人：5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金、またはこれの併科
- 法人：3億円以下の罰金

不法投棄発見数の推移  
(資料：環境課)



中野小学校の児童から贈呈された環境啓発ポスター

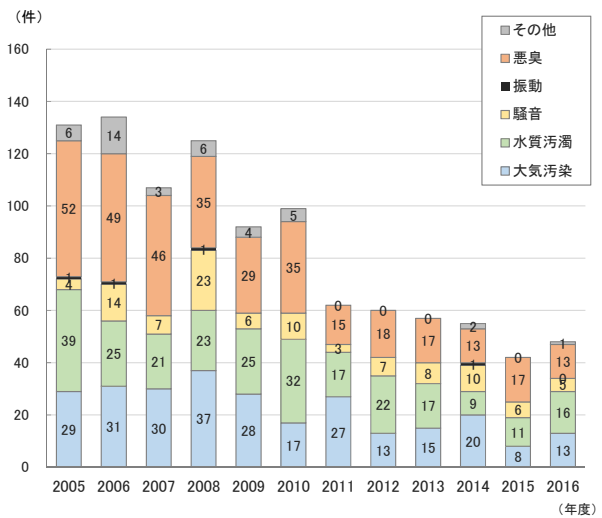


### (3) 生活環境

#### ■ 公害

##### ◆ 公害苦情の状況

公害苦情件数は、近年、減少傾向にあり、年間50件程度の苦情が市に寄せられます。2016年度(平成28年度)の内訳では、水質汚濁に関する苦情が最も多く、次いで、悪臭、大気汚染と続いています。



公害苦情件数の推移

(資料：環境課)

##### ◆ 騒音・振動

###### ○ 自動車騒音

自動車騒音の測定は、道路に面した地域において、騒音の環境基準がどの程度満足しているかを示す面的評価を行います。2012年度(平成24年度)から2016年度(平成28年度)において実施した測定地点における自動車騒音の測定結果では、環境基準を超過している地点はありませんでした。

###### ○ 新幹線の騒音・振動

北陸新幹線の金沢延伸に伴い、県が実施した新幹線鉄道の騒音・振動測定では、2015年度(平成27年度)・2016年度(平成28年度)とも騒音は環境基準を超過していました。

自動車騒音測定結果

年度	路線名	測定地点	測定結果 (dB)		基準値等適合状況			
			昼間	夜間	環境基準		要請限度	
					昼間 (70dB)	夜間 (65dB)	昼間 (75dB)	夜間 (70dB)
2012	一般国道292号	吉田地内	69	64	○	○	○	○
	主要地方道中野豊野線	吉田地内	70	65	○	○	○	○
2013	一般国道292号	田麦地内	68	63	○	○	○	○
	一般国道403号	江部地内	68	61	○	○	○	○
2014	一般国道292号	壁田地内	68	64	○	○	○	○
	主要地方道中野豊野線	江部地内	67	61	○	○	○	○
2015	上信越自動車道	上今井地内	51	49	○	○	○	○
	一般国道403号	一本木地内	68	60	○	○	○	○
2016	主要地方道中野豊野線	草間地内	67	62	○	○	○	○
	県道中野小布施線	三好町地内	62	51	○	○	○	○

(資料：環境課)

北陸新幹線鉄道騒音測定結果

測定場所	地域 類型	年度	騒音 (dB)		振動 (dB)	
			測定値	環境基準値	測定値	指針値
中野市厚貝	I	2015	72	70以下	47	70以下
		2016	71		47	

: 環境基準を超過

(資料：長野県)

## ■ 大気環境

### ◆ 大気汚染状況

大気汚染物質には、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントなどがあり、これらは、工場や自動車などから排出されるばい煙や排気ガスなどから発生し、大気中の濃度が高くなると人の健康などに被害をもたらす場合があります。

市内では、県により長野県中野庁舎（中央一丁目4-19）において常時測定を行っています。

光化学オキシダントで環境基準（1時間値）を超過する日が年60日程度ありましたが、注意報の発令には至っていません。

県中野庁舎における大気測定結果

項目	評価基準（単位）	年 度						環境基準値
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	
一酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.001	—
二酸化窒素	年平均値 (ppm)	0.008	0.007	0.006	0.005	0.005	0.004	0.04~0.06 以下
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	0.018	0.015	0.015	0.015	0.014	0.014	0.1以下
光化学オキシダント	昼間の1時間値 の年平均値 (ppm)	0.036	0.032	0.037	0.036	0.035	0.036	1時間値0.06 以下
	環境基準超過日数	60	46	70	63	67	63	
ダイオキシン類	年平均値 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.060	0.019	0.017	0.013	0.016	0.015	1年平均値 0.6以下
アスベスト濃度	年平均値（本/μg）	—	—	—	—	0.41	0.30	—
		—	—	—	—	0.24	0.16	

(資料：長野県大気常時監視測定結果)

◆ダイオキシン類対策

ダイオキシン類は、炭素・酸素・水素・塩素を含む物質が熱せられるような過程で自然にできてしまう副生成物です。現在の主な発生源は、ごみの焼却による燃焼ですが、そのほかに、製鋼用電気炉、たばこの煙、自動車排出ガスなど様々な発生源があります。青酸カリよりも毒性が強く、人工物質としては最も強い毒性を持つ物質であるといわれることがありますが、これは、日常の生活の中で摂取する量の数十万倍の量を摂取した場合の急性毒性のことで、環境中や食品に含まれる量は超微量なので、日常の生活の中で急性毒性が生じることはないと考えられます。

市内では県により常時監視などを行っています。

2011年度(平成23年度)から2016年度(平成28年度)の測定結果では、環境基準を超過している地点はありませんでした。

ダイオキシン類測定結果

単位：pg-TEQ/g

項目	調査地点	年度						環境基準
		2011	2012	2013	2014	2015	2016	
一般環境常時監視								
大気	長野県中野庁舎	0.019	0.017	0.013	0.016	0.015	0.011	0.6
河川	千曲川立ヶ花橋	—	0.082	—	—	—	—	1
地下水	長野県中野庁舎	—	—	—	0.018	—	—	
底質	千曲川立ヶ花橋	—	0.31	—	—	—	—	150
産業廃棄物焼却施設周辺調査								
大気	豊津飯綱神社	0.018	0.012	0.011	0.018	0.013	0.012	0.6
	豊津笠倉公民館 (笠倉公会堂H28～)	0.015	0.011	0.015	0.014	0.025	0.012	
	厚具長丘街区公園	0.017	0.012	0.013	0.015	0.0090	0.0130	

(資料：長野県)

排出ガス行政検査結果

年度	事業場名称 (所在地)	焼却能力 kg/h	測定結果 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>	排出基準 TEQ/Nm <sup>3</sup>	判定
2011	㈱永井本店中野工場 (栗林)	550	0.23	10	適
2012	㈱市川商会 (壁田)	1,208	0.73	1	適
	ミヤマ㈱ (壁田)	1,960	1.4	10	適
2013	飯山陸送㈱	3,400	0.86	1	適
	ミヤマ㈱ (壁田)	1,960	1.5	10	適
2014	㈱永井本店中野工場 (栗林)	550	0.6	10	適
2015	ミヤマ㈱ (壁田)	1,960	1.1	10	適
	㈱市川商会 (壁田)	1,208	0.7	1	適
2016	飯山陸送㈱	3,400	0.23	1	適

(資料：長野県)

## ◆放射性物質

市では、東日本大震災に起因した原子力発電所事故による放射能汚染に対して、2011年(平成23年)9月から市内の公共施設において空間放射線量測定を実施しています。

2016年度(平成28年度)の測定結果をみると、すべての測定地点で、国際放射線防護委員会(ICRP)が2007年(平成19年)に示した勧告による自然放射線及び医療目的の放射線を除き一般人が1年間に浴びてもよい被ばく限量(1mSv/年、0.19 $\mu$ Sv/h)を下回っています。

また、2012年(平成24年)10月から市内の学校給食センター、保育所等が子どもに提供する給食用食材と市民が自家消費用に栽培した食材についても検査を実施し、これまでの検査結果はすべて不検出でした。

2016年度(平成28年度) 市内公共施設等の空間放射線量測定結果

測定施設	測定頻度	測定回数	測定値 ( $\mu$ Sv/h)
本庁舎 【駐車場 地上1m】	月1回	12回	0.04~0.07
豊田支所 【駐車場 地上1m】	月1回	12回	0.05~0.06
保育園・幼稚園・認定こども園 (市内14箇所) 【園庭 地表面】	2カ月に1回	6回	0.03~0.09
小・中学校(市内15箇所) 【グラウンド 地表面】	2カ月に1回	6回	0.03~0.08

(資料：環境課)



違法な野外焼却

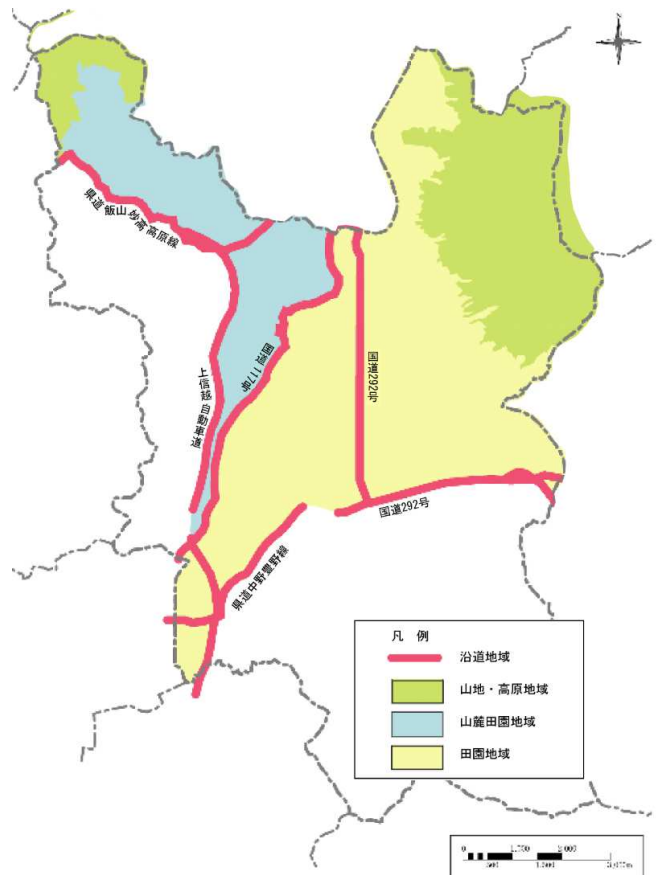


自動車騒音測定

## ■ 景 観

地域の景観の特性や地域の自然、歴史、文化、風土等の諸条件を踏まえて、きめ細かくかつ総合的な景観の育成を行うため、市内北部地域が長野県景観条例に基づく「高社山麓・千曲川下流域景観育成重点地域」に指定されています。

景観の育成は、市民とこの地を愛し訪れてくださる方々等とが協働して推進する最も価値ある取組のひとつです。この取組により、私たちの心地よい暮らしを実現し、美しく豊かな景観が次の世代へと引き継がれることが望めます。



高社山麓・千曲川下流域景観育成重点地域

## ■ 空家等対策

適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の市民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことから、市民の生命、身体又は財産を保護するとともに、生活環境の保全と空家等の活用の促進が必要とされています。

このため、市では、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「中野市空家等対策計画」を策定し、市内の空家等の問題解決及び発生抑制を図るため、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することとしています。



■ 公園

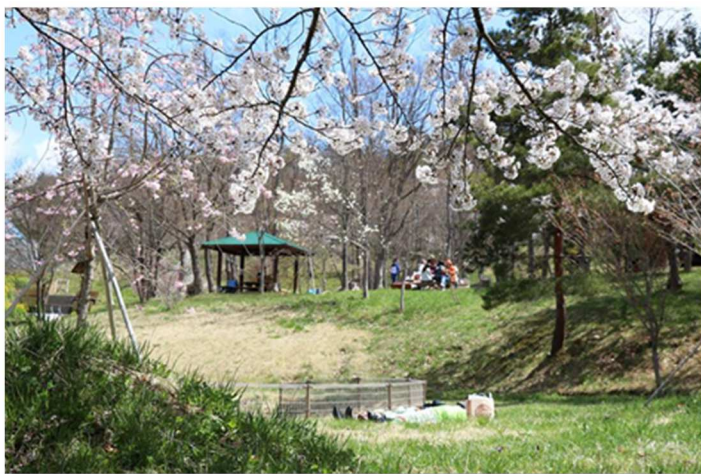
2016年度(平成28年度)末現在、本市には21箇所、40.24haの都市公園が整備されています。都市計画人口1人当たりの面積は約11.0m<sup>2</sup>となっており、長野県平均13.5m<sup>2</sup>(2015年度(平成27年度)末)より低い値となっています。

都市公園の概要

(平成28年末現在)

種別	公園名称	開設面積 (ha)
街区公園	15箇所	2.78
近隣公園	一本木公園	3.40
	高梨館跡公園	1.50
地区公園	北公園	7.00
総合公園	北信濃ふるさとの森文化公園	15.48
都市緑地	夜間瀬川竹原河川公園	2.88
	夜間瀬川中央河川公園	7.20
合計	21箇所	40.24

街区公園：主として街区に居住する者の利用に供する公園。250m以内の居住者を対象、標準面積0.25ha。  
 近隣公園：主として近隣に居住する者の利用に供する公園。500m以内の居住者を対象、標準面積2.0ha。  
 地区公園：主として徒歩圏内に居住する者の利用に供する公園。1km以内の居住者を対象、標準面積4.0ha。  
 総合公園：都市住民の休養、観賞、散歩、遊戯等の総合的な利用に供する公園。都市の規模に応じて、面積10～50haを標準として配置する。  
 都市緑地：都市の自然的環境の保全及び都市景観の向上等を図る緑地。1カ所あたり面積0.1ha以上を標準。



春の北信濃ふるさとの森文化公園



バラが咲き誇る一本木公園

## ■ 水環境・水資源

### ◆ 河川水質

市では、水質に関する調査を河川26箇所、湖沼3箇所の計29箇所で行っています。

そのうち環境基準の類型指定がされている河川において、水質汚濁の代表的な指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）は、現在すべての地点で環境基準を達成しています。また、pH（水素イオン濃度）、DO（溶存酸素）は基準値内、SS（浮遊物質）は概ね基準値内の数値となっていますが、大腸菌群数は、ほとんど基準値を超過しています。



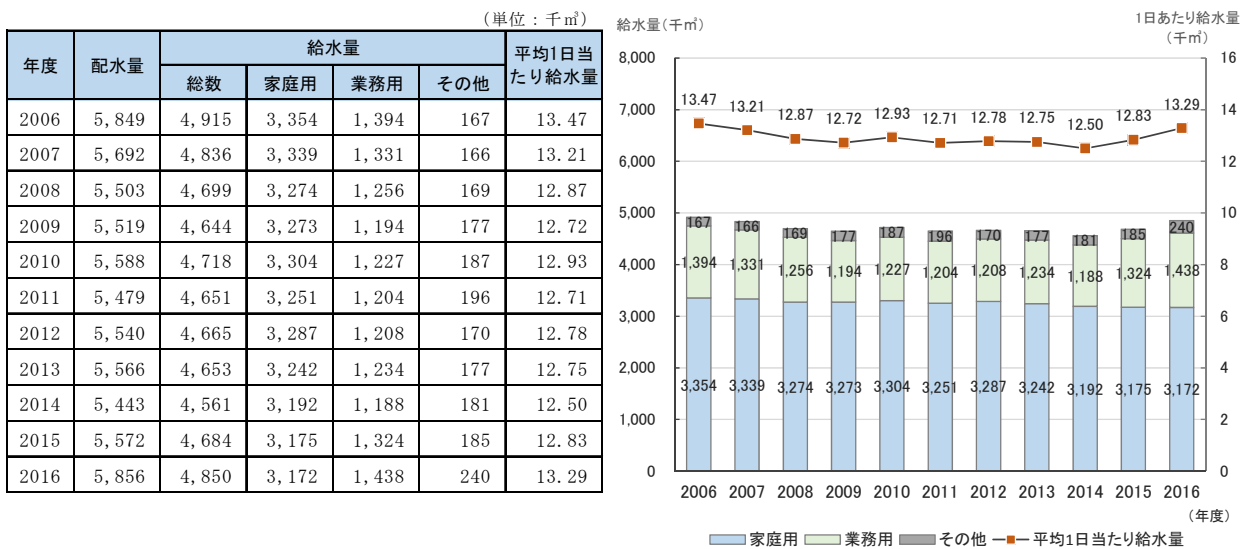
水質測定値の推移 (資料：中野市)

◆上下水道

本市の水道普及率は、97%を超えており、ほぼ市内全域に普及しています。年間の給水量は、約485万m<sup>3</sup>となっています。水源（中野市営分）は地下水が15箇所（うち山ノ内町地籍1箇所）、表流水が1箇所（山ノ内町地籍）、伏流水が2箇所となっています。

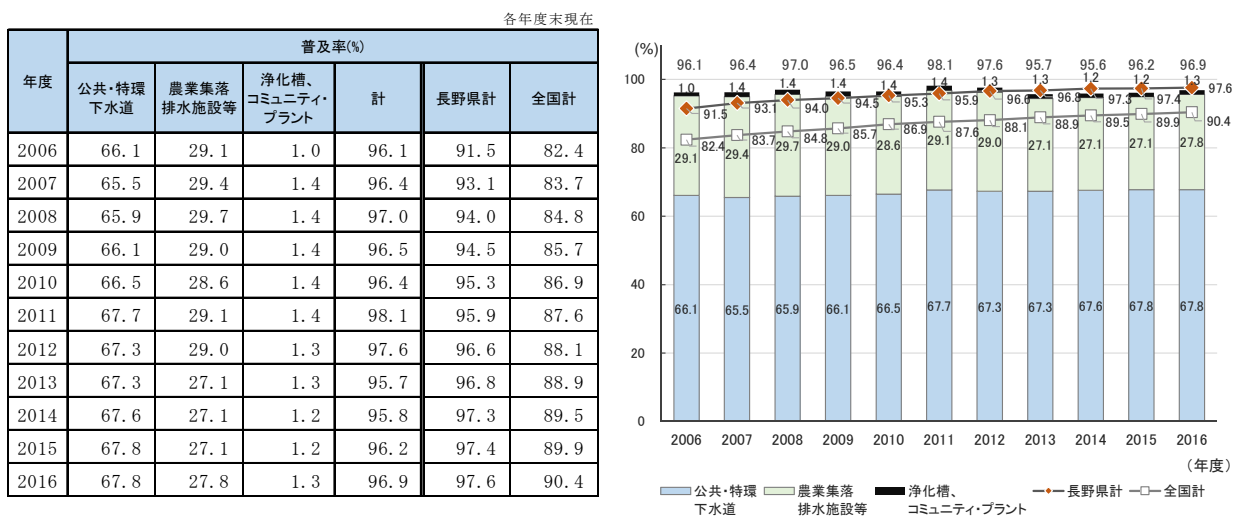
また、下水道等普及率は、2016年度(平成28年度)末現在で96.9%となっており、長野県全体より低い値となっています。

市営水道の給水状況



(資料：上下水道課)

汚水処理人口普及率



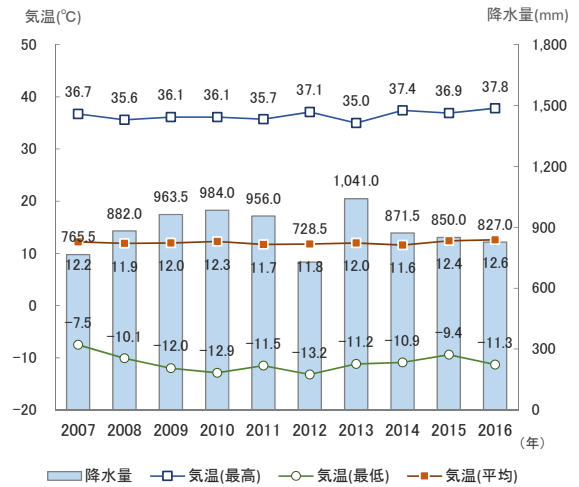
(資料：長野県)



## (4) 自然環境

### ■ 気象

本市の大部分は、気温の年間差が大きく、冬季は-10℃以下にまで下がり、夏季は30℃以上にまで上がる内陸性気候となっていますが、地域によってかなりの違いがみられ、北部は、雪の多い日本海側の気候の特色を示しています。積雪量は、南北で差が大きく、集落地でも多い所では2mを超すところがあります。



気温と降水量の推移

(資料：岳南広域消防本部)

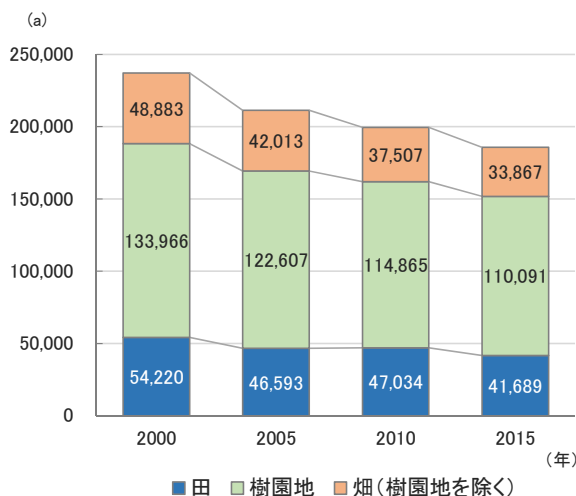
### ■ 農地・森林

#### ◆ 農林業

本市の農業は、菌茸、果樹を中心に全国でも有数の園芸農業地帯となっています。農業生産額は、付加価値を高めた施設型農業を積極的に展開し、生産性を向上させた、えのきたけ、ぶなしめじ、なめこ等の菌茸類が6割程度を占め、次いで果樹栽培に適した気候を生かし、畑地かんがい事業の推進など基盤整備に取り組んだ、ぶどう、桃、りんご等の果樹類が2割程度を占めています。

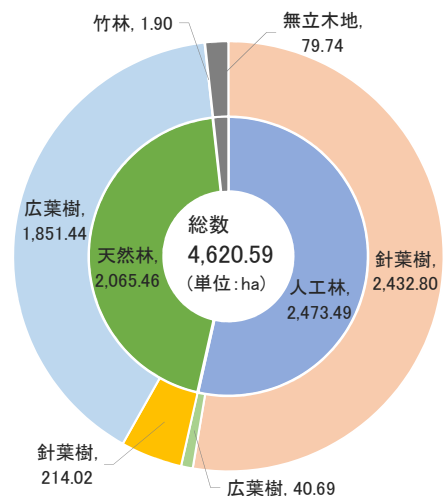
販売農家の経営耕地面積は、2000年(平成12年)から2015年(平成27年)までの間に約22%減少しました。全面積のうち、樹園地が6割近くを占めています。

本市の2017年度(平成29年度)の森林面積は4,620.59haで、市全体の約41%を占めています。人工林が約54%、天然林が約45%となっています。



販売農家の経営耕地面積の推移

(資料：農林業センサス)



森林面積

(資料：長野県民有林の現況)

◆有害鳥獣

市内における鳥獣被害で主なものは、ハクビシン、ツキノワグマ、イノシシ、スズメ、タヌキ、ニホンカモシカによるもので、農作物の食害、農地等の掘り起し、水稻の踏み荒しなどの被害がみられます。

2016年度(平成28年度)における被害面積は407a、被害金額は7,409千円でした。

市では、「中野市鳥獣害被害防止計画」を策定し、市、農協、森林組合、地区の対策協議会、猟友会等で構成する「中野市害鳥獣対策協議会」により、有害鳥獣の捕獲、侵入防止柵の設置などを実施しています。

野生鳥獣による農作物の被害状況

鳥獣の種類	品目	被害の現状 2016年度(H28年度)	
		面積(a)	金額(千円)
ハクビシン	果樹	26a	1,903千円
	野菜	3a	217千円
ツキノワグマ	果樹	22a	1,807千円
	稲	39a	1,468千円
イノシシ	稲	54a	334千円
	イモ類	2a	22千円
	野菜	3a	4千円
スズメ	稲	244a	988千円
タヌキ	果樹	5a	384千円
ニホンカモシカ	果樹	9a	282千円
合 計		407a	7,409千円

(資料：農政課)

■ 外来生物

近年、本市においても、河川敷でのアレチウリの繁茂、ハクビシンによる農業被害など外来生物によるかく乱などの問題が目立ってきています。これら外来生物は、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことで、生態系などへの影響が懸念されています。

また、アレチウリについては、毎年、駆除活動をし、生育範囲の拡大を防除しています。



外来生物のアレチウリ



アレチウリの駆除活動

## ■ 天然記念物

本市には、文化財としての天然記念物が7件（国指定1件、市指定6件）指定されています。

国指定の天然記念物は、「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」で、夜間瀬川の崖地でチョウゲンボウが繁殖している世界的にも希少な集団繁殖地です。「十三崖チョウゲンボウ応援団」が設立され、繁殖地周辺のかん木伐採、草刈りなどの営巣環境の保全や観察会、勉強会などを行っています。

また、市指定の天然記念物として、市内に多々ある古くからの地域で守り伝えられてきた巨樹のうち6件が指定されています。これらの樹種がすべて異なることは、中野市の巨樹の特色のひとつでもあります。

### 国指定天然記念物

名称	指定年月日	所在地	所有者
十三崖のチョウゲンボウ繁殖地	1953年(昭和28年) 11月14日	中野市大字深沢、竹原	中野市ほか

### 市指定天然記念物

名称	指定年月日	所在地	所有者
柳沢のエドヒガン	1984年(昭和59年) 5月29日	中野市大字柳沢	柳沢区
如法寺のイチヨウ	1985年(昭和60年) 4月26日	中野市大字中野	如法寺
小内八幡神社社叢	1993年(平成5年) 4月30日	中野市大字安源寺	小内八幡神社
高井大富神社のエノキ	2002年(平成14年) 3月1日	中野市大字大俣	大俣区
永江諏訪神社巨樹	1982年(昭和57年) 11月1日	中野市大字永江	永江諏訪神社氏子総代
盛隆寺のイチイ	2004年(平成16年) 3月31日	中野市大字間山	宗教法人 盛隆寺

(資料：生涯学習課)



飛翔するチョウゲンボウ

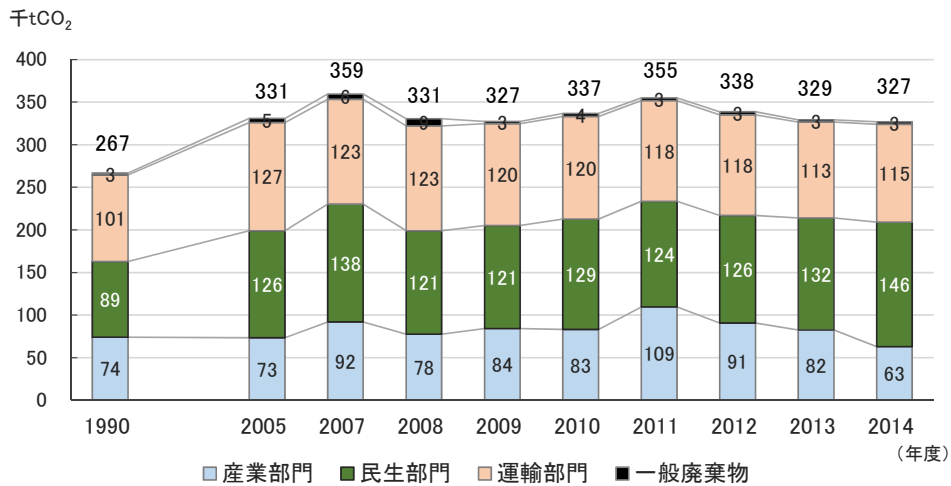


チョウゲンボウの観察会

## (5) 地球環境

### ■ 地球温暖化

本市における2014年度(平成26年度)の温室効果ガス排出量は、約327千t-CO<sub>2</sub>でした。部門別では、民生部門が約146千t-CO<sub>2</sub>、運輸部門が約115千t-CO<sub>2</sub>、産業部門が約63千t-CO<sub>2</sub>でした。

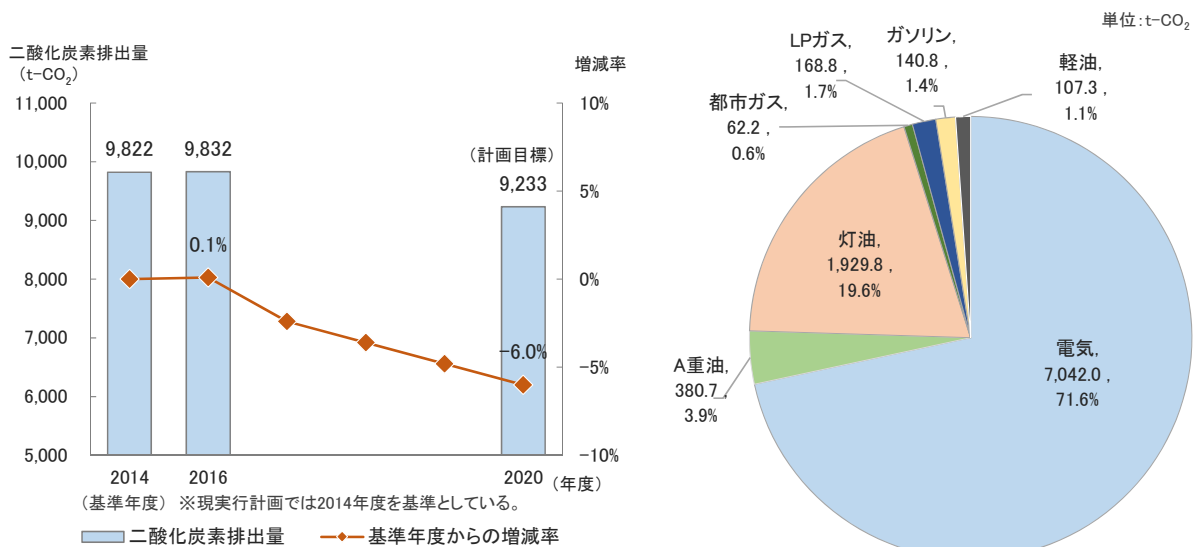


部門別二酸化炭素排出量の現況推計値

(資料：環境省簡易マニュアルによる算定)

### ◆市の事務事業による二酸化炭素排出量

市では、市が直接行っている事務・事業等を対象に「中野市地球温暖化防止実行計画」(2016(平成28)～2020年度の5か年計画)を策定し、二酸化炭素排出量の削減に努めています。2016年度(平成28年度)における市の事務事業による二酸化炭素排出量は、約9,832 t-CO<sub>2</sub>で、計画の基準年度(2017年度(平成26年度))より0.1%増加しました。排出要因の内訳は、電気が71.6%、灯油が19.6%、A重油が3.9%などとなっています。



二酸化炭素排出量の推移

(資料：環境課)

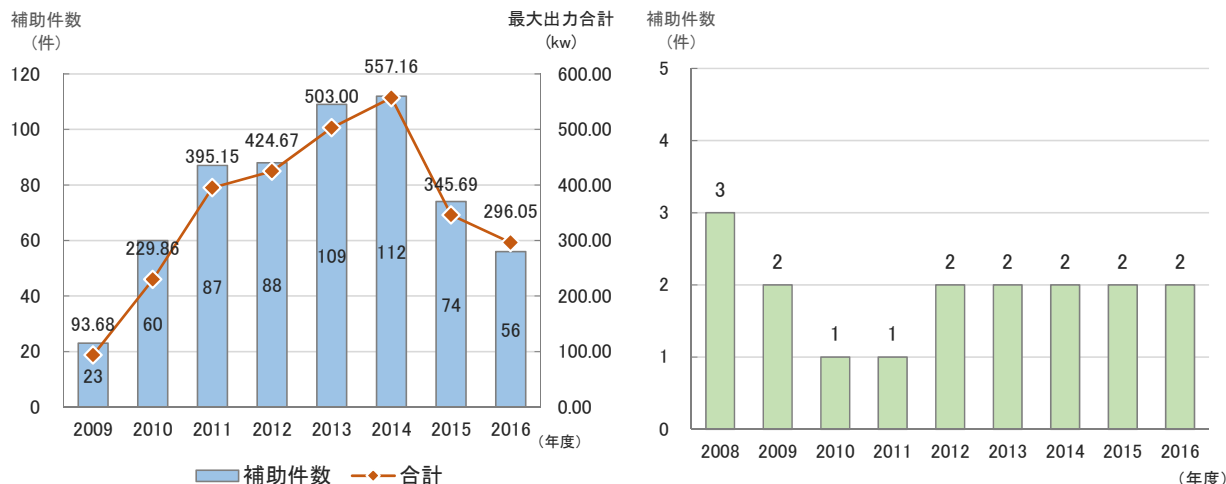
排出要因内訳

(資料：環境課)

## ■ 再生可能エネルギー

市では、住宅用太陽光発電システムの設置費用、ペレットストーブ等の購入費用に対し、補助金を交付しています。太陽光発電システムについては、補助を開始した2009年度(平成21年度)から2016年度(平成28年度)までの累計は609件、2,845kwとなっています。

また、市内の公共施設へも新エネルギー設備が導入されています。



太陽光発電システムへの補助件数-最大出力  
(資料：環境課)

ペレットストーブ等への補助件数  
(資料：農政課)

### 市内公共施設の新エネルギー設備導入状況

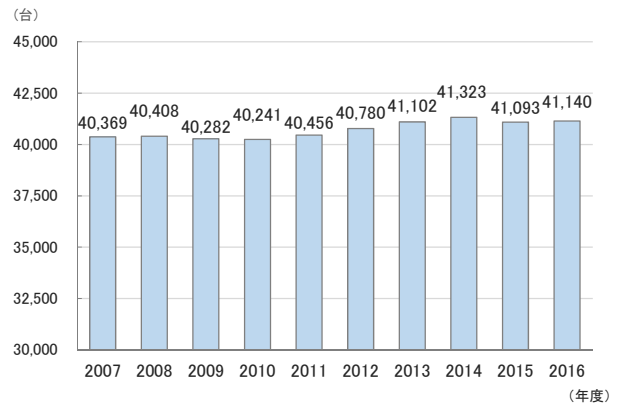
エネルギー種別	事業主体名	施設名称	導入時期	設備概要	利用形態	使用対象(用途)
廃棄物発電 +コージェネ	北信保健衛生 施設組合	東山クリーンセンター	1998 2017	最大出力：890kW、焼却炉、廃熱 ボイラー(常用圧力：22kg/cm <sup>2</sup> 、 蒸気温度：240℃、最大蒸気量： 9,840kg/h、熱回収量： 13,450Mcal/h)	電力・冷暖房 及び給湯融雪	プラント施設内の電力、施設 外の農村環境改善センター、 道路融雪に使用し、余剰 電力は売電
太陽光発電	中野市	中野市防災行政無線屋外 子局(中野市間山)	2003.2	最大出力：108W	電力	防災行政無線屋外放送施 設
廃棄物熱利用	中野市	中野市晋平の里間山温泉 公園 ぼんぼこの湯	2010.3	バイオマス温水ボイラー	熱	灯油ボイラーの補助
廃棄物熱利用	中野市	中野市斑尾高原体験交流 施設 まだらおの湯	2012.3	バイオマス温水ボイラー	熱	灯油ボイラーの補助
廃棄物熱利用	中野市	中野市豊田温泉公園 もみじ荘	2012.3	バイオマス温水ボイラー	熱	灯油ボイラーの補助
太陽光発電 +風力発電	中野市	長丘小学校	2012.8	風力発電機 定格出力400W 1基 太陽電池 1枚、LED照明 1台	電力	自然エネルギーや環境に 関する学習
太陽光発電 +地中熱利用	中野市	さくら保育園	2013.3	ソーラー街路灯2基、樹脂製熱交 換パイプ130m埋設	電力・熱	保育室の室温調整
太陽光発電 +地中熱利用	中野市	ひまわり保育園	2015.3	太陽光発電約15kW、径350mm管 108m埋設	電力・熱	施設内電力、保育室の室 温調整

(資料：長野県「長野県内の新エネルギー設備導入状況」に追加・改変)

■ 交通

◆自動車保有台数

市内の自動車保有台数は、2016年度(平成28年度)時点で、41,140台となっており、2007年度(平成19年度)より771台、1.9%増加しています。

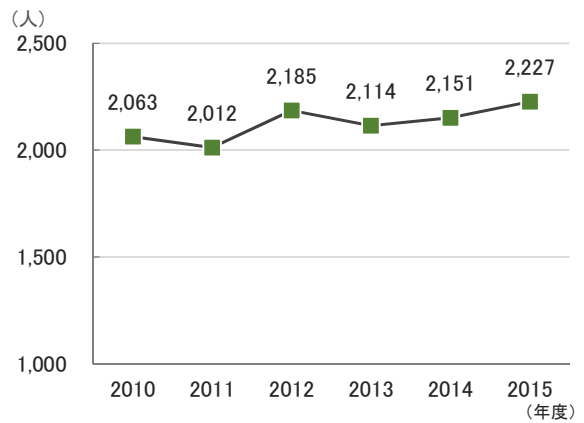


市内自動車保有台数

(資料：北陸信越運輸局長野支局)

◆鉄道交通

鉄道は、北陸新幹線が2015年(平成27年)3月に延伸し、隣市の飯山市に飯山駅が開業しました。在来線では、JR飯山線と長野電鉄長野線が運行しています。JRは2駅(上今井、替佐)、長野電鉄は5駅(桜沢、延徳、信州中野、中野松川、信濃竹原)あります。市内駅での1日当たりの乗車人数は、2,200人程度となっています。



1日当たり乗車人員の推移

(資料：政策情報課、JR東日本HP、長野電鉄株、長野県統計書)



JR飯山線

◆バスの状況

バスは、廃止路線代替バスが3路線（立ヶ花線、菅線、合庁線）、長電バス直営路線が3路線（永田線、上林線、中野木島線）、コミュニティバス（ふれあいバス）が3地域（倭・科野地区、間山線、豊田地域）、デマンドタクシー（お出かけタクシー）が1エリア運行しています。



ふれあいバス間山線

◆電気自動車用充電設備

市内にある電気自動車用の充電設備（急速・普通充電器）は、自動車販売店など14箇所に設置されています。公共施設では、「道の駅ふるさと豊田」及び「信州中野観光センター」に設置されています。



電気自動車用充電設備（道の駅ふるさと豊田）